別紙（様式２　令和２年度改善計画　学校用）

令和２年度版　改善計画

学校名：山梨県立あけぼの支援学校

No.	項目	現状と課題	令和３年度に目指すべき状態	①R2年度に実施する内容　②R3年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	平成30年度に全会議の20%において会議時間の短縮や回数の縮減など改善が行われた。しかし依然として会議が多く、個々の会議時間が長い。多忙感の大きな理由となっている。	令和２年度末調査に比べ、会議時間がさらに５%短縮される。	①　令和元年度に引き続き ・ノー会議デイ（あけぼのの日・きずなの日）を設定する。 ・会議資料は共有データを参照し、印刷・配布にかかる労力を削減する。 ・会議の終了時刻を設定し時間短縮を図る。 ・会議時間を計り会議効率化の基礎資料とする。 ②　開催回数を減らすことのできる会議を検討する。 会議時間短縮に向けて方法を検討する。	B
2	学校行事の負担軽減	学校行事に対する職員の負担感は比較的少ないが、実際の業務量は多い。	効率化により、学校行事に関する業務量が軽減される。	①　学校行事とPTA行事を同日に開催するなど、負担軽減を図る。 ②　感染症対策のための簡素化、短縮化を図る。	A
3	校内組織の見直し	平成30年度には、開催されていない委員会等の見直しを行った。その後、検討を続けている。	検討を進め、不要な委員会等は廃止し、さらに校内組織が簡素化される。	①　校内の主任会議等において、具体的な校内組織について改善策を検討する。 ②　より効率的な校内組織の見直しに向けた検討を行う。	C
4	業務の効率化	個別の指導計画等、書類の作成に時間がかかる。多忙感の大きな理由となっている。平成29年度に三学期制から二学期制へと移行したため、書類作成回数は減った。	可能な限り書類作成回数が縮減され、様式の工夫により入力に関わる負担が減る。書類作成業務をグループ単位で分担し個人の業務量が平準化される。	①　各種書類作成に関わる、負担を削減する工夫を検討する。 書類作成に関するルールを統一する。細かすぎるルールは作らない。 大事な部分だけ訂正してもらうようにする。 ②　教材等をデータで共有するなどして、教員間の共同性を高める。	B
5	部活動の負担軽減	平成29年度より、運動部（卓球部）は平日２時間の活動とし、土日は原則として活動しないこととしたが、指導者の負担は大きい。	適切な活動回数・時間となり、短時間でも充実した練習ができている。指導者が負担に感じないように分担して行う。	①　部活動を短時間で集中して行うことができるように指導方法等を工夫する。 ②　児童生徒会の役員会のある日は、部活動の開始時間が遅くなるが、改善を検討していく。	B

6	地域人材の活用	多忙化解消の視点での地域人材活用はされていない。	安全安心が確保される範囲で、地域の人材を活用し多忙化改善の成果が上がる。	①　多忙化改善の視点から地域人材の活用を検討する。 ②　校内のコーディネーターにより、関係者・関係団体と連携を図る。	C
7	早期退校の促進（学校独自の項目）	遅くまで残って仕事をしている教員が多い。	令和２年度に比べ、全職員の退校時間が早くなる。	①　「きずなの日」「定時退校日」には、原則としてそれぞれ管理職が積極的に声をかける。早期退校を早めに提示し、全職員に促すことで日々の早期退校を意識づける。	B
8	年間計画の検討（学校独自の項目）	行事と書類作成の時期が重なっているため多忙感が増した。	行事等が適切な時期に配置されており、年間を通じて業務量に偏りがない。	①　各行事と書類作成の時期を見直し、適切な配置を検討する。	B

※達成状況：次のＡ～Ｄで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村（組合）教育委員会へ提出する。
　Ａ　達成できた　　Ｂ　ある程度は達成できた　　Ｃ　あまり達成できなかった　　Ｄ　達成できなかった
※様式は、必要な項目が含まれていれば、適宜、変更して使用して差し支えないこと。